

令和7年第1回木津川市議会定例会
代表質問通告書（2月27日）

1	日本維新の会 谷川 光男
質問要旨	<p>質問事項： 施政方針の具体的な取組について問う</p> <p>令和7年度は市長が就任されて3年目のスタートにあたり、組織体制も新たに、本格的な市政運営の基本的な考え方やそれに伴う予算等が提案されました。</p> <p>そして、まちの将来像「子どもの笑顔が未来に続く 幸せ実感都市 木津川」の実現に向け取り組む主要施策が示されました。7つの方針について、その内容についてお尋ねします。</p> <p>(1) ともに「学び」「喜び」「成長し」未来に生きるこどもを育むまちづくりについて</p> <ol style="list-style-type: none">① 保育園等集金業務のキャッシュレス化により集金業務の効率化になるが、デメリットは発生しないのか。② 本市における不登校児童・生徒の実態は。また、すべての空き教室等を活用し設置する校内教育支援センターの整備内容について。③ 今年度から3校の小学校体育館空調設備の設計業務に着手されるが、具体的な計画の概要は。④ 学校給食の給食費について、本年度保護者に聞き取りを実施されたのか。また、結果は。 <p>(2) 誰もが生き生きと、生涯元気で暮らせるまちづくりについて</p> <ol style="list-style-type: none">① 市独自の施策として実施する、50歳以上等を対象とした带状疱疹ワクチン接種費等助成の対象者数は。② 障がいのある方への支援内容と対象者は何人か。また手話言語条例の制定目標の手順は。③ ひきこもり支援に関し、府から市に移管されることにより新たに配置する相談支援員及び専門家の体制整備について伺う。 <p>(3) 一人ひとりが認め合い、力を発揮できるまちづくりについて</p> <ol style="list-style-type: none">① 自治会活動保険料に対する助成制度の内容は。② 地域長との連携によるタウンミーティングの開催時期及び内容等について。 <p>(4) 人・資源・立地を活かし、未来を拓く産業のまちづくりについて</p> <ol style="list-style-type: none">① JR上狛駅周辺での特産品販売等イベントの開催についての規模、取り組むスタイルは。② 市坂地区、高田地区等の農地ほ場整備計画の進捗状況は。 <p>(5) 災害などから市民を守り、安心・安全に暮らせるまちづくりについて</p> <ol style="list-style-type: none">① 木津川台中央公園において取り組む給水栓整備内容と今後の整備計画は。② 防犯カメラの市内地域要望数は。また令和7年度設置予定数等は。 <p>(6) 快適で住みよい生活環境と、豊かな自然に恵まれたまちづくりについて</p> <ol style="list-style-type: none">① 木津駅前東線を補完するルートとなる道路新設工事と木津駅東側区画整理との関連性及び整備計画の進捗について。② ごみの減量化に向けた取り組みとして、雑がみ保管袋配布及び古紙回収補助金の単価アップを実施されるが、現状と効果について。③ 市内バスの運行について、利用実態調査を実施されるが、その箇所と対象者及び調査内容は。 <p>(7) 効果的・効率的な行政運営と市民に開かれたまちづくりについて</p> <ol style="list-style-type: none">① 市公式LINEアカウントの登録者を増やすための手段は。また現在の登録者数は。② ふるさと納税について、令和6年度は1億3,000万円程度と見込んでいるが、ふるさと納税の実質の収支は。

質問事項： 消防組織の充実について	
質問 要 旨	<p>本年度、市内において、住宅等の火災が多々発生している状況であり、亡くなられた方もおられます。</p> <p>消防署員・消防団員の出動により消火活動をしていただいているのですが、より一層充実すべきと考えます。また初期消火の点から、自主防災組織による消火活動の必要性を感じます。そこでお尋ねします。</p> <p>(1) 市消防団員の実数等は。</p> <p>(2) 山城町での住宅火災における、出火連絡から放水までの所要時間及び経過は。</p> <p>(3) 住宅付近の農地等に雑草(枯草)が繁茂しているが、行政指導はされているのか。</p>
質問事項： 本年度の事業執行等の見通しについて	
質問 要 旨	<p>今年度も残り少なくなり、昼夜、安心・安全なまちづくりと快適な生活環境の向上を目指し、市長を先頭に職員が一丸となって事業執行や課題の解決に努力されていると思いますが、本年度の事業執行状況についてお尋ねします。</p> <p>(1) 本年度の予算執行は万全ですか。</p> <p>(2) 国と市が協力して実施されている国土交通省管轄の国道24号城陽井手木津川バイパスの地籍調査等の進捗状況は。また今後の予定は。</p>

2 日本共産党木津川市議員団 西山 幸千子	
質問事項： 市民生活を守るために	
質問 要 旨	<p>日本全体で少子化と高齢化がいつそう進んでいます。長生きできる高齢化は歓迎すべきですが、そこに費用負担がかかると世代間対立をあおるような風潮が広がっているのは悲しむべきことです。安心して暮らせる木津川市を求めます。</p> <p>(1) 教育施策の充実から：教育の無償化で全ての子どもたちの可能性を広げる。今年の「将来に向けて希望を持てるまちづくり」から今年の「笑顔で暮らせる社会の実現」に向けて。</p> <p>① 物価高騰は特に貧困家庭や所得の少ない家庭、生活弱者への影響が計り知れません。そして子どもたちが安心して教育を受けることも難しくなります。市長の掲げる給食費の「負担軽減の継続」から一歩進めて、給食費無償化へと舵を切ることが必要ではないですか。</p> <p>② 開幕直前となった大阪・関西万博のテーマが「いのち輝く」です。しかし、大阪府内の市長も「安全な場所」だと保護者に自信を持って説明できない場所への「社会見学をさせない」と明言しています。木津川市としても、子どもたちを「安全」と言えない場所へ連れて行くことを容認する無責任な立場は取らないでください。</p> <p>(2) 高齢になってもずっと住みたいと思うまちづくりに、市民の移動手段の確保は必須です。「誰もが生き生きと、生涯元気で暮らせるまちづくり」を掲げるならば、</p> <p>① 奈良交通路線バスの廃止・休止の撤回。利便性の高い路線とコミバスの存続と高齢者が外出しやすいようにコミバスの運賃はせめて100円にすべきです。</p> <p>② 高齢者への福祉施策の拡充。「ちょこっとながも」を他地域でも利用拠点を確保し、市民全体の健康寿命を延ばし、高齢者の外出機会を増やすことで医療費・介護費用の軽減を目指すべきです。</p> <p>③ 当初、北陸新幹線建設整備予算は2兆1千億円と言われていたが、現時点では5兆3千億円と報道されています。北陸新幹線京都延伸がもたらす弊害から市民生活を守ってください。奈良線、学研都市線の全線複線化と減便の撤回で、利用しやすいJRを求めべきではないですか。</p> <p>(3) ジェンダー平等社会・ひとりひとりが大切にされる社会の実現</p> <p>① 昨年からはスタートした「パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度」ですが、まだまだ認知度が低い状況です。この制度が広がることで、市民の意識もいつそう向上するのではないですか。行政手続きに必要な書類での性別の扱い(記入)はどうなっていますか。</p>

質 問 要 旨	<p>② 高齢女性の貧困につながる非正規雇用をなくす方向へと社会全体も進める時代になってきました。市では、会計年度任用職員の週勤務時間を20時間以上にすれば改善できることが多い、処遇改善を強めるべきです。</p> <p>(4) マイナンバーカードの押しつけはやめよ。 新年度から更新時期を迎える方のための手続きをスムーズに進めるために、近くの郵便局を活用することは認めますが、実際にマイナンバーカードと健康保険証や運転免許証が紐付けされることでの弊害があります。任意取得であったはずのマイナンバーカードの押しつけはすべきではありません。</p>
------------------	---

3 公明党 大角 久典	
質問事項： 施政方針について問う	
質 問 要 旨	<p>木津川市議会公明党は、「大衆とともに」との立党精神のもと、どこまでも一人に寄り添い、一人を大切に政治を貫きながら、年齢、性別などの違いにかかわらず、誰もが希望に応じて社会参画し活躍できる社会の実現を求め、代表質問を行います。令和7年度一般会計予算365億4300万円は、過去最大の予算となっております。</p> <p>これまでの公明党の提案も多く含まれており、大きな期待がかかっています。まずは、市政運営の基本的な考え方より、組織体制からお聞かせください。</p> <p>(1) 新年度からこども未来部を新設されます。少子化対策としてこれまでの出産育児に対する施策から新たに出会いや結婚まで、一段と広い範囲を想定されていると考えるが、こども未来部の目指す目標や役割をお聞かせください。</p> <p>(2) 「ともに学び」「喜び」「成長し」未来を生きるこどもを育むまちづくりについて</p> <p>① 不登校対策として、市内の全ての小中学校の空き教室等を活用し、校内教育支援センターを設置するとありますが、具体的な内容をお聞かせください。</p> <p>② 5つの中学校の体育館の空調設備は、年度末に完成する予定ですが、引き続き小学校3校の体育館の空調設備の設計業務を行うのは、具体的にどこの学校かお聞かせください。</p> <p>(3) 「誰もが生き生きと、元気で暮らせるまちづくり」について</p> <p>① 新たに帯状疱疹ワクチン接種費の助成について、国では65歳以上の定期接種からの方針が示されていますが、市独自の施策として50歳以上とした根拠と財源、実施時期などの具体的にお聞かせください。</p> <p>② がん検診における胃内視鏡検査が受診可能な医療機関など具体的にお聞かせください。</p> <p>(4) 「一人ひとりが認め合い、力を発揮できるまちづくり」について 自治会活動保険料に対する助成制度の創設について具体的にお聞かせください。</p> <p>(5) 農業振興について、令和の米騒動と言われたように米の生産者への支援策が必要です。木津川市環境にやさしい農業支援事業について具体的にお聞かせください。</p> <p>(6) 快適なまちづくりについて</p> <p>① 城山台地域と木津駅前東線を補完する道路の新設計画について、これまでの交通渋滞の緩和になり、また、道路ができることによって新たなまちづくりのきっかけになると考えます。そこで具体的な計画をお聞かせください。</p> <p>② 上下水道について、国の予算の概要では、施設の耐震化と災害時の代替性・多重性の確保が計画されています。どのように活用しますか。</p> <p>③ 水道水質検査において、有機フッ素化合物（PFAS）の検査回数を1回から4回に増やすとあるが、市民の不安の払拭に繋げるため、広く市民に公表する方法をお聞かせください。</p>

質
問
要
旨

(7) 「市民に開かれたまちづくり」について

市民が必要な情報をスムーズに見れることが重要である。ホームページのリニューアルの概要は。市公式LINEアカウントによる情報発信について、例えば、地域のイベント情報など情報発信の内容を拡大する計画などをお聞かせください。

令和7年第1回木津川市議会定例会
代表質問通告書（2月28日）

1	改革木津川 玉川 実二
質問要旨	<p>質問事項： 令和7年度施政方針と主要事業を問う</p> <p>1 令和7年度主要事業の推進に際してのガイドラインでもある施政方針について、まずは、昨年度の総合計画・総合戦略後期1年目の主要事業を総括していただき、その課題などについてどのように分析・評価されるのかお伺いいたします。</p> <p>特に、昨年度の施政方針に掲げられた7つの基本方針に基づく主要施策について、市民目線で見た時の費用対効果などをお伺いいたします。</p> <p>その上で、令和7年度の施政方針についていくつかお伺いいたします。</p> <p>(1) 組織体制について、デジタル戦略室と行財政改革推進室の統合目的と課のミッションは何か。</p> <p>また、市のDX化の可能性を探るとありますが、対象となる領域・分野はどこでしょうか。</p> <p>(2) 不登校への対応について、全国的にも不登校は増加傾向とのことですが、本市の現況について5年のトレンドでお示しいただき、また考えられる要因は何かお示し願います。</p> <p>(3) 温暖化防止等環境対策について、夏の猛暑は生命と健康に危険があるレベルと言及されていますが、「市民の命と財産を守る」という最も大切な事業に、全庁を挙げての取組がなされていますか。また市立小学校体育館空調設備の予算執行計画と導入計画についてお伺いいたします。</p> <p>(4) 防災について、防災マップを増加する外国人への対策として企業などに配布されるとのこと。外国人と共に暮らすという観点で大事なことです。他方、外国人向けの避難訓練の推進はどのようにお考えですか。</p> <p>(5) 昨年12月から事業運行開始の「乗合送迎サービス」について、2か月が経過した現在、①安全面、②住民からの事業に対する評価、③事業性（採算面）についてお伺いいたします。</p> <p>(6) ふるさと納税について、令和7年度の寄附額の目標と、達成に向けた根拠となる施策は何か。</p> <p>2 次に、本市の重点課題でもあります財政健全化についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 歳出改革の具体的施策について、どのような策を講じ改善を図るのか、具体的な数値を用いてご答弁願います。</p> <p>(2) トップラインを上げるための歳入改革として、稼ぐ自治体への施策などについてのお考えをお伺いいたします。</p> <p>(3) 歳入・歳出改革を実行する横断的組織とミッションについてのお考えは。</p> <p>3 最後に、教育改革についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 木津川市立小学校及び中学校の在り方検討委員会の現状と今後の見通しは。</p> <p>(2) 希望する学び（学校）を、子どもたちや保護者が選択できる制度についてのお考えは。</p>

2 新風コスモスの会 兎本 尚之

質問事項： 令和7年度施政方針と主要事項を問う

質
問
要
旨

市長の施政方針を受け、「子どもの笑顔が未来に続く 幸せ実感都市 木津川」の実現に向けて、スピード感と攻めの姿勢を持っての施政方針を理解する中で、特に、若者会議など、若い方々の意見を積極的に市政に反映させる姿勢を評価いたします。我々、新風コスモスの会として要望してきたことについて、代表質問という場で市長の考えを確認させていただきます。

(1) 組織体制について

- ① こども未来部とデジタル推進課を新設することにより、若者政策に関して庁内の司令塔として企画調整し対応していくとのことだが、若い職員を積極的に抜擢して、新しい発想で業務を進めることが、市の攻めの姿勢につながると考えるが、市長の考えは。
- ② 女性活躍・多様な人材（人財）・多様な働き方を推進しつつ、限られた職員数であっても、持続可能で質の高い市民サービスの提供をするための体制強化の考え方は。また、人材確保と人材育成の考え方は。

(2) 防災、安心・安全対策について

- ① 会派で強く要望をしている医療体制の充実強化の必要性について、市長の考えは。
また、国、府の認識と山城南医療圏の実態とはズレがあると感じているが、新たな病院ができるなど医療体制の充実強化への課題は何か。
- ② 草が生い茂っているなど、維持管理が不十分で放置されている遊休地などは、「割れ窓理論」のように住民にとって不利益が発生することが懸念される。我々会派の議員も地元において、よく相談を受ける。そのような遊休地などの解消に向けた有効な対策が必要と考えるが、市長の認識は。

(3) まちづくりの推進について

- ① JR木津駅から東側のまちづくりを一般質問した際、駅東口ロータリーの渋滞対策を提案した。今回、道路の新設に向けた調査設計を行うとあるが、予算化に至った市長の想いは。
- ② 本年度、取り組んできた地域活性化について、京都産業大学の学生による「まちづくり提案」の発表が行われた。また、地域おこし協力隊や「ちょこっとながも」など南加茂台地域と向き合ってこられた2年間であったと感じています。我々会派としても、過疎指定を活かした加茂地域の活性化に向け、都市計画事業の強力な推進を要望しているが、市長は加茂地域をどのようにしていこうという考えか。

(4) 教育施設の充実について

- ① 空調設備について、3校の小学校体育館の設計業務に着手し、今後も計画的に進めていくとのことだが、市立の小・中学校の在り方に関する基本計画との関連性はどうか。
- ② 給食費について、食材費の大幅な値上がり分の負担軽減を継続していくとのことだが、給食を提供するにあたって、管理運営と食材購入に係る経費総額が約9億円（R5年度）である。納税者の税金と保護者の負担割合は。また、給食費の公会計化の考えは。

(5) ふるさと納税について

ふるさと納税ワンストップ特例制度により、所得税控除相当額を個人住民税から控除する現状の仕組みにより、国税が負担すべき額まで市税の減収が生じている状況である。住宅借入金等特別税額控除での減収分は地方特例交付金で補填する仕組みがあるが、認識と対応は。

3 自民党木津川 堤 征一郎	
質問事項： 市政運営の現状と展望について	
質問 要 旨	<p>令和7年度における市長の施政方針が発表されました。特に予算については過去最大となる365億円を超える規模となり、市長の積極的な姿勢が伺えます。また、JR木津駅東道路を新設するなど、JR木津駅の周辺開発について市の前向きな姿勢が表れています。</p> <p>そこで今回の予算と財政、公共施設、都市計画などに関するそれぞれの基本計画との整合性について、市長のお考えをお聞きします。</p> <p>(1) 第2次木津川市総合計画における財政収支見通しと比較して、令和7年度の予算についてどのような認識を持っているのか。</p> <p>(2) 木津川市公共施設等総合管理計画を令和7年度にどのように実行していく予定なのか。</p> <p>(3) 新名神高速道路の工事遅延に関して、城陽井手木津川バイパスへの影響は。</p> <p>(4) JR木津駅東側の開発について地権者との協議や協力などが不可欠であると考えますが、市の認識はどうか。</p>
質問事項： 水道事業について	
質問 要 旨	<p>水道事業をめぐる環境は、物価高、施設や水道管などの老朽化に伴い、ますます厳しさを増しております。昨年の能登半島地震や最近の堺市の水道管破損を受けて、水道管維持管理の重要性が注目されています。また、水道水に含まれるPFASと呼ばれる有機フッ素化合物への対策も必要となってきました。これまで以上に、安心して飲める水道水には相応のコストがかかることが明らかになっています。水道料金を現状のまま維持すれば、将来的にどのような結果が予想されるのかを踏まえて、対策を検討すべき段階にきています。</p> <p>そこで、水道事業についての市長のお考えをお聞きします。</p> <p>(1) 木津川市新水道ビジョンに示されている今後の水道事業を踏まえて、今年度の現状認識はどうか。</p> <p>(2) 今後も市が責任を持って水道事業を維持していくことが、市民生活の基盤である。市民生活を守るため、責任ある対応が必要では。</p>
質問事項： 魅力ある木津川市について	
質問 要 旨	<p>人口減少が予想される市政の未来は、生活の場として選ばれる住みやすい市になるかどうかにかかっています。自治体間の競争は激化しています。本市は、京都、奈良、大阪に近い恵まれた立地条件にあります。今後はこれに加えてさらに魅力あるまちづくりが必要となります。そのためには、教育環境や保育環境について他市との差別化を図ることが求められています。</p> <p>子育て環境についての市長のお考えをお聞きします。</p> <p>(1) 学校教育の充実を目指す中で、英語教育の重要性についてどう認識しているのか。</p> <p>(2) 地球温暖化を踏まえて、学校環境の充実についてどのような施策を実施していくのか。</p> <p>(3) 保育環境の充実について市はどのように取り組んでいるのか。</p>